

代々木歯科 新体制で診療中

代々木歯科はJR代々木駅東口より徒歩5分、新宿御苑が隣にある閑静な住宅街にあります。1977年に現在地に開設し今年で33年目を迎えます。ユニット(歯科治療台)数16台と大型の歯科施設です。診療室は患者様のプライバシーを配慮し個室タイプになっています。

代々木歯科では予防・治療・管理のトータルなケアシステムで、患者様のお口の健康を守る診療をすすめています。虫歯や歯周病の治療を行う一般歯科を中心に診療をおこなっています。



もインプラント(人口歯)・小児歯科、障害児・者医療、歯科往診(在宅・病院)にも積極的に取り組んでいます。近年は歯周病メンテナンスを重視した治療を行っています。

代々木歯科ではこのたび事業所の管理運営及び診療支援のために3名の歯科医師を東京民医連の事業所より迎えました。みなさん歯科医師歴30年以上のベテランの先生たちです。新たな体制で診療を行います。今後ともよろしくお願いたします。

チーム医療の更なる強化を

未来につながるルールを

吉田万三 医師

(医療法人財団健和会)

1月から勤医会理事に就任し、歯科担当に「新しい風」の導入が必要とされています。健和会蒲原歯科での診療、東京民医連副会長など兼務になりますが、南條・神田という両ベテラン歯科医師の力も借りながら、代々木歯科をはじめ勤医会歯科部門の新たな発展をめざします。

これまで、技術的にも組織的にも、その規模に見合う力量アップ



都度さまざまな困難にぶつかってきました。職員と力を合わせて、未来につながるルールを敷いていきたいと思っています。

ふたたび代々木病院で

神田 剛 医師

(東京保健生活協同組合)

私は磐梯山を仰ぎ見ながら生まれ、荒川の上を走って、今もこの季節は積雪で大変です。大学卒業後は代々木病院の歯科に入職しました。今は都内の医療生協で働いています。趣味は一時海釣りですが始発の電車に乗るのがつらくなり、今は月1回のハーフマラソンに出場をめざし、荒川の土手を走っています。



今回、再び代々木歯科で診察することになりました。よろしくお願いたします。

「共同の営み」の医療を

南條芳久 医師

(社会医療法人健全会)

福島県の阿武隈山地で18歳まで過ごしました。現在は立川市在住です。あこがれの趣味は登山です。民医連歯科医師歴33年目になります。

代々木歯科(病院)とのめぐり合いは学生時代です。当時の野戦病院のような雰囲気、忙しさのなかで、患者の歯科医療などに情熱をもって取り組んでいる姿に感動しまし



ぐに大田病院に就職しました。患者さんが治療の主体となって私たちと一緒に闘病する「共同の営み」の医療を追及したいと思います。

花粉症の薬は一般的には以下のような薬が使われます。

抑制薬(メイソナー、リザベン)は、肥満細胞(アレルギー反応をおこす細胞)を壊れにくくする作用があり、ヒスタミンやロイコトリエンなどが出るのを抑えます。使い始めから十分な効果が表れるまで2週間程かかるため早めに使い始めます。鼻づまりにもやや効果がありません。作用が少なく安心して使えます。



花粉症の薬

楠本由美子(薬剤師・たくみ外苑薬局)

くすりの話あれこれ 51

鼻葉です。粘膜の血管を収縮させて粘膜の腫れを取り除いて、鼻づまりに効果を示します。使いすぎると鼻づまりが強くなる時もあるため1日1回から2回までとし1〜2週間の使用に留めるのがよいでしょう。

目の症状には、抗アレルギー点眼液を使います。抗ヒスタミン作用を持つリポスチンやパタノール点眼液、メデイエーター抑制作用と抗ヒスタミン作用を併せ持つザジテン点眼液などがあります。症状がひどくなると抗アレルギー点眼で不十分なときはステロイド点眼を併用します。長期連用では眼圧上昇などの副作用防止のため定期的な検査が必要です。

主な治療薬を紹介しましたが、症状の出方や重症度を把握し自分にあった治療薬で花粉の季節を乗り切りましょう。

はとぶえ会学習会のお知らせ

日時 3月20日(土) 午後1時30分~4時

「嚥下性肺炎~脳梗塞」

場所 代々木病院東館地下会議室

講師 おおくほ戸山診療所

所長 星野啓一医師

呼吸器外来の患者さん、特に在宅酸素患者さんは多数ご参加下さい。